




広報
昭和62年
9月

こうなん

No.181号 昭和62年 9月10日

〔8月1日現在人口〕 男5,327人 女5,380人 計10,707人
世帯数2,808

— 小さな名コックさん —

8月4日、5日保健センターで、母と子の楽しい料理教室が南・北小学校4年生を対象に開催され19組38名の親子が参加しました。

小さなコックさんたちは、慣れない手つきで野菜をきざんだり、お母さんに教えてもらいながら、できあがった料理の味は又格別、「おいしいね」と満足そうでした。

南小校舎 改築工事始まる

完成は来年二月

次代をになうこともたちが、すこやかに成長していくために、町では、義務教育施設の拡充に力を入れてきましたが、今年度事業として、南小学校校舎の改築工事が決まりました。

長い間にわたり、多くの生徒を輩出した木造の南校舎は、夏休みを利用して一部取りこわされ、やがて近代的な校舎に生まれ変わります。

鉄筋コンクリート

三階建

新校舎は、鉄筋コンクリート造の三階建てで、延床面積二千百十四平方メートル、総工費は三億一千万円です。

新校舎は平面図のように、一階

には普通教室三のほかに、校長室職員室などがあり、二階には普通教室三のほかに、図書室、視聴覚室、情報広場などがあります。

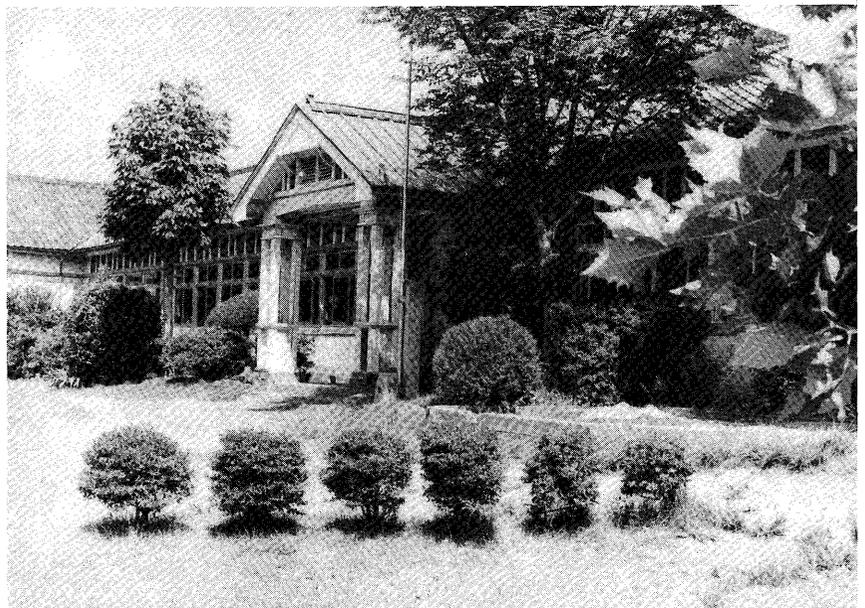
三階は、音楽室、家庭科室になっています。この校舎の特色としては、一階のオープンスペースここでは、学年集会や子ども達の発表会、映画会等さまざまに利用できるようステージが設けられています。

次に、二階には情報広場があり町の統計や産物など知りたい情報や学校からの情報など、多目的に利用が考えられています。さらに全体の景観が附近の緑にマッチするよう、屋根に日本瓦が使用されています。

さよなら

木造南校舎

新校舎の建設にあたり木造南校舎の一部がかかるため、その一部をとりこわし、新校舎が出来てから全体が取りこわされます。大勢の人々に親しまれてきた木造南校舎は、約六十年間数々の功績と思いの出を残して、消えてゆきます。



▲多くの思い出を残して消えゆく南校舎

私の思い出

野原 笠原 満

このたび南小の木造校舎がとり壊されて新校舎が建てられることになり、夏休みにその工事が始まりました。この南校舎は、私にとって大変思い出の深い校舎です。それは、この校舎が建築される

に当たって、お寺の分教場生活をした末、六年の卒業間際に短い期間でしたが使い初めをして卒業したからです。

この木造校舎が新築される前、南小学校（当時は小原尋常高等小学校）は現在の江南農協南支所の敷地にあり、私たちはそこで五年生まで勉強しました。校舎も古



▲工事の安全を祈願して鍬入の儀

つち音たかく 基礎工事はじまる

懸案だった南小学校校舎の改築

く教室と廊下が障子紙の戸で仕切られていたと記憶しております。六年生になった時、校地を移転し、現在の場所に校舎が新築されることになりました。在校生は、二年生を除き学年ごとに村内の寺

院に分散し、本堂を仮教室として授業を受けることになり、私たち六年生の仮教室は須賀広の釈迦寺でした。本尊様の前に紅白の幕を張って仕切りましたが、真冬には奥から

吹いてくる寒風にふるえ上り、かじかんだ手は鉛筆も持てないほどのこともありましたが、仕切幕の下からのぞいて本尊様へのお供え物の品定めをしたことなど覚えています。

卒業も間近かの昭和三年三月、待望の新校舎が落成に近づいた頃、高学年は校庭の整地作業にお寺の仮教室から通いました。むしろで作った担架で土を運んだり、草取り、石拾い、時には用材を積んだ

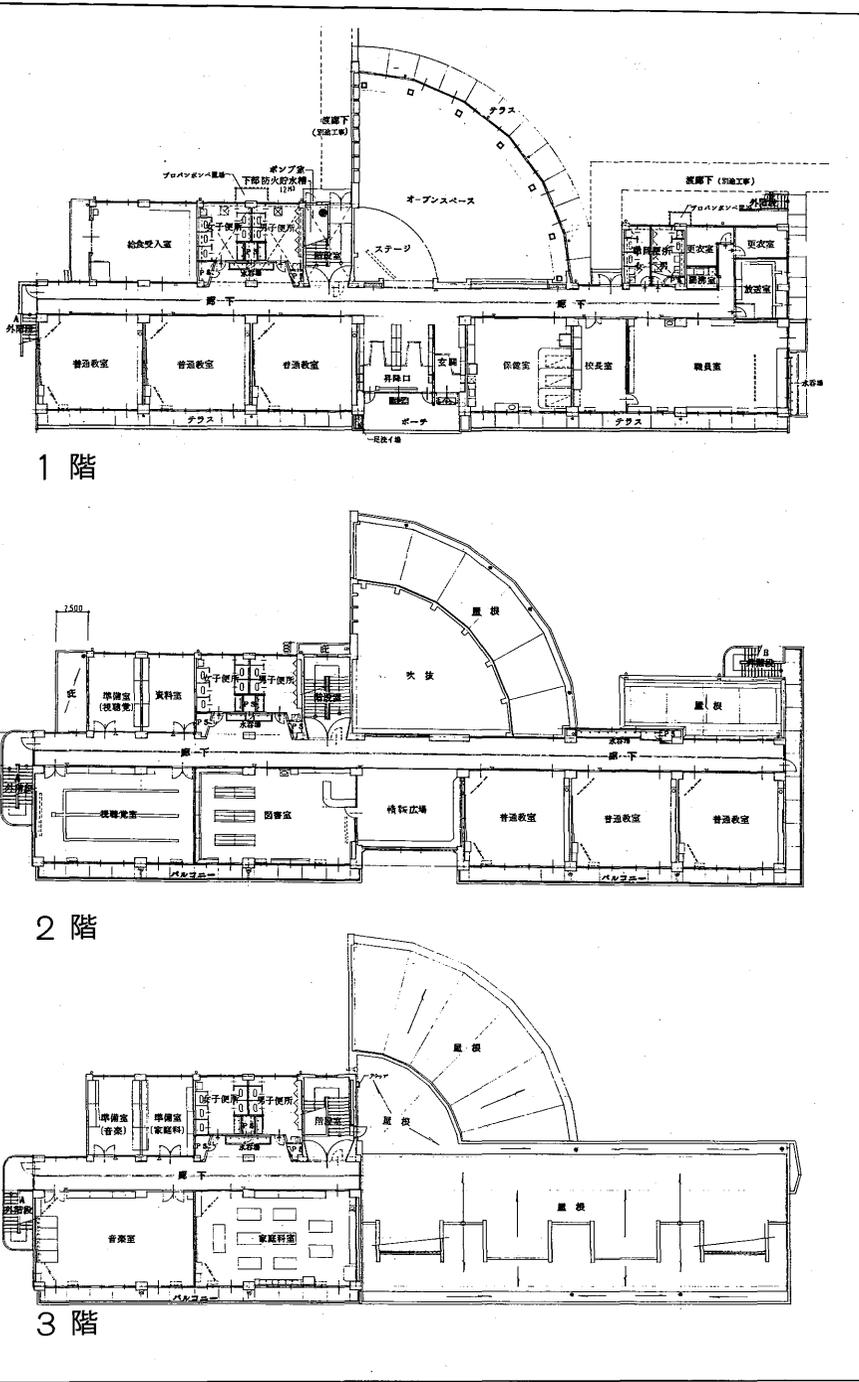
トラックの後押しなどして、新校舎に入る喜びに胸を躍らせながら働きました。

三月半ばになると校舎も殆んど竣工し、村当局の計らいで六年生だけ卒業までの二週間新校舎の使い初めをさせていただいたのです。

一番西の教室でした。木の香も新しい明るいきれいな教室、檜材の細板組み込み式の床、四本柱のある玄関など、当時としてはまことにモダンな建築でした。建築費は当時のお金で五万数千円と聞いた記憶があります。

今から考えると嘘のような金額ですが、世界大不況の当時とすれば、大金でした。この南校舎の使用はわずか二週間の短い期間でしたが、ここから初めて巣立った私たちにとって忘れることの出来ない懐かしい思い出の校舎です。この校舎が消えさることは誠に淋しく残念ですが、時代に即した教室環境を整えるためにはやむを得ないことと思います。

南校舎建築以来六十年、幾多の有為な人材を育て、当町発展の礎となった校舎は、ここで学んだ者の心から消え去ることはないでしょう。重大な使命を果して消え行く南校舎に、卒業生の一人として深甚な感謝の念を献げたいと思います。



1階

2階

3階

八十八歳以上は三十四人

横綱は坂田ますさん (押切 九十七歳)

九月十五日は「敬老の日」またこの日から一週間は「老人福祉週間」です。

〃人生八十年時代〃を迎えたいま、これまで人生で培ってきた豊かな経験や知恵を社会に役立てていただきたいものです。

お年寄りを老け込ませないためにも、お年寄りならではの持ち味や特徴を家庭や地域社会にもとめられております。



長寿番付

(9月1日現在 敬称略 満88歳以上)

長寿番付

順位	年齢	氏名	生年月日	住所
1	97	坂田 ます	明23.4.8	押切130
2	95	関口 せい	25.5.1	押切2528
3	94	高橋 ふ志	26.5.3	須賀広573
4	〃	福田 けい	26.6.25	成沢215
5	93	高橋嘉四郎	26.9.14	須賀広285
6	〃	福田勝次郎	27.1.5	上新田253-1
7	92	馬場 こう	27.11.10	樋春832
8	〃	黒田 ソノ	27.12.9	小江川1396
9	〃	野呂きぬゑ	28.3.15	野原461-3
10	91	飯塚徳次郎	28.9.21	小江川604
11	〃	新井 つや	28.10.27	上新田98
12	〃	馬場 志乃	29.2.21	樋春1058
13	〃	松本ヤス子	29.5.10	御正新田576
14	90	吉野 もん	29.10.12	板井1106-1
15	89	石川 てる	30.9.20	小江川1396
16	〃	柴田 彦一	30.10.6	上新田150
17	〃	柴 ゆわ	30.11.28	柴156-1
18	〃	桃井志のぶ	31.1.2	野原461-3
19	〃	栗田 トメ	31.4.16	野原461-3
20	〃	萩原 いち	31.4.28	成沢447-2
21	〃	関口 久平	31.5.13	〃 972
22	〃	橋本 ふさ	31.5.27	御正新田1179
23	〃	滝田 とよ	31.6.15	樋春339
24	〃	飯島 ゆわ	31.8.25	野原461-3
25	88	駒井 きん	31.11.22	小江川1968-1
26	〃	持田 はな	31.12.5	押切145-1
27	〃	吉田 くに	32.1.1	野原461-3
28	〃	柴田賢次郎	32.1.3	三本948
29	〃	吉田 うめ	32.1.14	須賀広151
30	〃	水野 勝吉	32.3.9	成沢1090-2
31	〃	清水 ミツ	32.3.20	樋春2072-9
32	〃	小林 やす	32.5.3	小江川893
33	〃	大鷲三興吉	32.6.10	野原461-3
34	〃	中原 ふじ	32.6.13	〃 〃

江南町では九月一日現在、八十八歳以上のお年寄りは三十四人で、そのうち女性が二十六人、男性八人と高齢になるほど圧倒的に女性が優位となっています。

一世紀近くを生きてこられたみなさん、長寿おめでとうございませす。そしていつまでもお元気で。

町の 老人福祉事業

● 老令年金
敬老と長寿をお祝いして、七十歳から七十九歳まで四、〇〇〇円、八十歳から八十四歳まで五、〇〇〇円、八十五歳以上のかたに、六、〇〇〇円支給しています。

● ねたきり老人手当
六十五歳以上のかたで、身体が不自由でねたきりの状態が六ヶ月以上続いているかたに対しては、その手当として月額二、〇〇〇円を支給します。

● 入浴サービス
家庭において、入浴することが困難でねたきりの状態にある六十歳以上のお年寄りで医師から入浴が可能とされている人を対象に入浴サービスを行なっています。申し込みなど詳しいお問い合わせは住民課(内線二二五)へ

● 老人家庭奉仕員派遣
老人で、ひとり暮らしのかたや、身のまわりの世話をする人のいない世帯で、日常生活に支障のある場合には、老人家庭奉仕員派遣の制度があります。民生委員さんに相談してください。

● 老人クラブの育成
町内に十七老人クラブが結成されており、レクリエーションなどの活動を積極的に行なっています。

● 「敬老の日」記念品の贈呈
七十歳以上のかたには、敬老の日に記念品をお贈りしております。

● 老人福祉センター「江南荘」
町内の六十歳以上のかたに江南荘の利用券を発行しております。お年寄りを対象に健康の増進、教養の向上、レクリエーションなどで盛況を毎日です。

● 老人医療制度
六十八歳以上のかたは、老人医療受給者証が交付され、外来の場合同医療機関ごとに一ヶ月八〇〇円、入院の場合は二ヶ月を限度とし一日四〇〇円の負担で治療ができますというものです。

秋の全国交通安全運動

9月21日~30日

重点目標

- 歩行者及び自転車利用者の交通事故防止
- 二輪車を中心とした無謀運転の追放
- シートベルト・ヘルメットの正しい方法による着用の徹底

秋の交通安全運動日程

9月21日	街頭広報の日、歩行者・自転車安全指導の日
9月22日	二輪車安全指導の日
9月26日	無謀運転追放の日
9月30日	シートベルト・ヘルメット着用徹底の日



救急車要請の三つのポイント

昭和六十一年中の江南町の救急車の出動件数は、一七一件で医療機関に運ばれた人は一八七人です。これは、町民の五六人に一人が救急車を利用したことになります。このように、救急車は多くの方々に利用されていますが、次のような、救急車の利用方法、応急手当について習熟しておき、いざという時に備えておきましょう。救急車を利用するときは

一 一九番する時、多くの場合あ

わててしまい、傷病者がどんな状態なのかを消防署へ伝えることができないことがあります。いざという時に備え、まず、電話のそばに住所や近くの目標を書いたメモを置いておくといでしょう。一 一九番通報は、消防本部通信指令室で受信いたしますので、救急車を呼ぶ時には次の三つのポイントをはっきりとあわせて言います。

- 救急事故等の発生場所と近く
- 試験日
 - 第一次 十一月八日(日)
 - 第二次 十一月二十六日(木)
- 試験の会場
 - 熊谷地区消防本部
- 募集の職種
 - 消防士(男子)若干名
- 受験資格
 - 一、熊谷地区消防組合管内各市町村及び隣接市町村(ただし群馬県太田市を除く。)に居住するか。
 - 二、高等学校を卒業又は卒業見込みのかた、若しくはこれらのかたと同程度以上の学力のあるかた。
 - (一) 高校卒 昭和四十二年四月二日から昭和四十五年四月
- 試験の目標
 - どのようなケガか病気が
 - けが人や病人の現在の容態
 - どのようにケガ人や病人に對して、一刻を争うケガ人や病人に對して、救急車が到着するまでに適切な応急手当を行えば、その傷病者の救命率は格段に高まるということが、医学的にも明らかにされています。
 - 応急手当の方法については、消防機関、日本赤十字社、その他の公的機関等で講習会を行っております。ぜひ、機会をとらえ講習会に参加し、正しい応急手当の方法を身につけるようにしましょう。
- 受験申込書の交付
 - 規定する欠格条項に該当するか。
 - 受験申込書の用紙は、熊谷地区消防本部総務課、熊谷消防署中央分署、玉井、荒川、江南、大里出張所、妻沼消防署のほか妻沼町、江南町、大里村役場でも交付します。
 - 申込書の受付
 - 十月五日から十月十五日まで(土曜日の午後・日曜日・祝日を除く。)
 - 問合せ
 - 熊谷地区消防本部総務課人事会計係まで
 - ☎二一四四四四
 - (内線二〇五・二〇七)

○ 試験の会場

熊谷地区消防本部

○ 募集の職種

消防士(男子)若干名

○ 受験資格

一、熊谷地区消防組合管内各市町村及び隣接市町村(ただし群馬県太田市を除く。)に居住するか。

二、高等学校を卒業又は卒業見込みのかた、若しくはこれらのかたと同程度以上の学力のあるかた。

(一) 高校卒 昭和四十二年四月二日から昭和四十五年四月

○ 試験の目標

○ どのようなケガか病気が

○ けが人や病人の現在の容態

○ どのようにケガ人や病人に對して、一刻を争うケガ人や病人に對して、救急車が到着するまでに適切な応急手当を行えば、その傷病者の救命率は格段に高まるということが、医学的にも明らかにされています。

○ 応急手当の方法については、消防機関、日本赤十字社、その他の公的機関等で講習会を行っております。ぜひ、機会をとらえ講習会に参加し、正しい応急手当の方法を身につけるようにしましょう。

○ 受験申込書の交付

規定する欠格条項に該当するか。

○ 受験申込書の受付

受験申込書の用紙は、熊谷地区消防本部総務課、熊谷消防署中央分署、玉井、荒川、江南、大里出張所、妻沼消防署のほか妻沼町、江南町、大里村役場でも交付します。

○ 申込書の受付

十月五日から十月十五日まで(土曜日の午後・日曜日・祝日を除く。)

○ 問合せ

熊谷地区消防本部総務課人事会計係まで

☎二一四四四四

(内線二〇五・二〇七)



—— 住民検診に 768 名 ——

8月17日から31日までの9日間（17会場）で住民検診が行なわれ768名の皆さんが受診されました。

医学が進歩したとはいえ、病気、特に成人病予防には日頃から自分自身で健康管理をすることが何よりも大切です。これを機会に健康について、あらためて考えてみてください。



—— キャンプのカレーは最高 ——

8月8日、9日の二日間、青少年相談員協議会主催のキャンプ大会が南北小6年生を対象に秩父の月ヶ峰キャンプ場で行なわれ、参加した100人の子どもの子どもたちは、食事づくりやキャンプファイヤーなど、楽しかった夏休みの忘れられない思い出となるでしょう。



—— 街頭指導 ——

7月20日から8月31日まで、夏の交通事故防止運動が実施されました。江南町でも区長さんや交通指導員さんの協力により、大沼公園入口と農協本所前の交差点でビラやうちわをくばっての街頭指導で、事故の防止やシートベルトの着用を呼びかけました。



—— 小さな豆剣士 ——

8月3日から5日間、町民体育館において、剣道教室が開催され大人、子ども合せ25名が参加しました。参加した豆剣士たちは、礼儀作法も自然に覚え、竹刀を持ち防具を身につけた姿は立派でした。



—— グリーンレディーズが来庁 ——

10月3日から11月15日まで、県営大宮公園を中心に、花と緑の祭典「グリーンハーモニーさいたま'87」が開催されます。夢と楽しさあふれるこの祭典のPRのため、8月6日、グリーンレディーズが役場を訪れ、宣伝活動を行ないました。

ミガンバッタネ、 関東大会3位入賞

南小サッカー少年団が八月二十二日・二十三日千葉市の千葉県総合運動場で行われた第十一回関東少年サッカー大会に出場し、三位に入賞しました。

この大会は、各県予選大会の上位十六チームが参加し、南小少年団は一回戦で田富少年団(山梨)を三対〇で下し、二回戦で高田少年団(群馬)に接戦しPK戦のすえ五対三で破り準決勝へ駒を進めました。ヤナゼ少年団(栃木)との試合に二対一でPK戦のすえ三対五で破れてしまいました。しかし、三位決定戦で同じ埼玉県の入間西武ウイング少年団を二対〇と圧勝し、堂々三位入賞をおさめました。

町民ソフト

ボール大会

七月十九・二十三日の二日間にわたって、町民ソフトボール夏季大会が開催され、参加二十一チームで熱戦の末、新小江川Aチームが三本チームを六対四で破って優勝しました。また、今回は、女子チームが参加し、江南レディースが優勝しました。



▲優勝した新小江川Aチーム



▲優勝した江南レディースチーム



▲堂々3位入賞した南小サッカー少年団 (撮影 野口 忠氏)

ぼしゅう

“さいたま博 コンパニオン募集”

「'88さいたま博覧会」の円滑な運営を図るため、各種の観客サービスを行う「コンパニオン」を募集します。

■勤務地

'88さいたま博覧会会場
(埼玉県熊谷市上川上一県営スポーツ文化公園建設予定地内)

■業務内容

- 改札業務
- パビリオン等における観客誘導、展示物の説明
- 会場における案内、放送及び迷子の保護
- その他

■採用期間

- 開催前研修期間(後日決定、延べ8日間を予定)
- 昭和63年3月19日(土)から5

月29日(日)までの開催期間

■募集人員

約100名

■勤務条件

- 7日のうち1日以上休み
- 1日実働8時間

■待遇

- 賃金 日額6,000円(交通費は、別途支給)
- コスチューム貸与

■応募期間

昭和62年9月1日(火)から10月20日(火)まで

■応募資格

- 年齢18歳から25歳程度の女性
- 開催中、会場に常勤
- 開催地へ通勤可能であること
- 開催前の研修に出席できること

■応募方法

◎応募書類に応募写真を添えて、募集係あて送付又は持参する。応募書類及び写真は、一切返却しません。

■応募書類

氏名(ふりがな)、年齢、生年月日、現住所、電話番号、最終学歴、職業及び特技・趣味(自己PRを含む)並びに、身長・体重(余白を利用)を記入した、履歴書(市販のもの)一通。

■応募写真

最近撮影した「上半身写真」と「全身写真」(いずれもカラーサービサイズ)とし、表情のはっきり写っているもので、正面向きのもの。裏面に住所、氏名を明記。

■選考方法

- 書類選考……10月下旬におこない、その結果を通知する。
- 面接選考……11月下旬におこない12月中旬に、その結果を通知する。

■問合せ・送付先

〒336 埼玉県浦和市高砂3丁目15番1号 さいたま博覧会実行委員会事務局「コンパニオン」募集係
☎0488-24-2111(代) 内線6312
6311

しけん

技能検定試験

■実施職種

配管、建築大工、和裁、パン製造等50職種62作業

■受験申請書の受付期間

昭和62年10月1日(木)から10月13日(火)まで

■受験手数料

実技試験 7,500円～12,500円
学科試験 2,300円

■実施期間

- 実技試験 昭和62年12月4日(金)から昭和63年3月7日(月)までの間に実施する。
- 学科試験 昭和63年2月3日(木)、7日(日)、14日(日)、21日(日)のうちの1日。

■問合せ・申請受付

埼玉県職業能力開発協会
浦和市北浦和5-6-5
☎0488 (29) 2801～2

ぼしゅう

NHK学園の通信講座で学習を

NHK学園では、生涯学習講座の秋の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

■生涯学習講座(通信講座)

書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など37講座です。

申込受付 8月15日～10月15日

■海外在住者コース(通信講座)

海外在住の社会人、青少年が〈生涯学習講座〉〈高校の教養コース〉を通信講座で学習します。

申込受付 8月15日からです。

■詳しいことは

お近くのNHKまたは〒186 東京都国立市富士見台2-36NHK学園8E61係に、講座名およびあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号をはがきに記入してご請求ください。電話による受け付けもしています。☎0425-72-3151

もよおし

紅葉散策と秋の山歩きを楽しむ親子の集い

■対象

県内在住の小・中学生とその親

■期日

昭和62年10月24日(土)～10月25日(日)

■場所

埼玉県青少年総合野外活動センター

■内容

親子オリエンテーリング大会、

前夜祭ほか。

■参加費

大人1人1,500円、小学生1人1,000円

■定員

150人(定員を超えた場合抽選となります。)

■申込み・問合せ

10月10日(土)(消印有効)までにハガキに参加者全員の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記して同センターへ

〒368 秩父市大字山田4386

☎0494-24-1463

第5回住宅祭

■日時

10月11日(日) 午前10時より

■場所

熊谷会館

■文化講演

浜美枝(女優)

その他、地元建設職人による手作品住宅関連機器の展示・フリーマーケット(希望者は出店可能)

■問合せ

事務局(埼玉労働北地本内)

☎23-3343

県民討論会

—あなたも参加しませんか—

県民の声を行政に反映させるため、次のとおり県民討論会が開催されます。一般のかたは自由参加ですので、ふるってご参加ください。

■テーマ

「心のつながりを求めて—国際性豊かな人づくりを考える—」

■日程・会場

10月17日(土)午後1時30分～4時30分、深谷市民文化会館

■参加者

県知事、國弘正雄、ケント・デリカット、一般参加者300～400人(自由参加)

現代オーストラリア美術展

■展覧会名

埼玉・クィーンズランド州姉妹

提携3周年記念

「現代オーストラリア美術展」

■会期

昭和62年10月9日(金)～12月16日(水)月曜日休館 但し、11月23日は開館

■会場

埼玉県近代美術館
埼玉県浦和市常盤9-30-1
☎0488-24-0111

■観覧料

一般 700円
大・高生 500円
中・小生 300円

そうだん

行政・心配ごと相談

日常生活での困りごとや行政への不満等のあるかた、毎月第4火曜日にご相談に応じています。どうぞお気軽にご相談ください。

■日時

9月22日(火)9時半～正午

■場所

江南町母子センター

教育相談

教育委員会では、毎週火曜日(祝祭日はのぞく)午後1時より3時までの間、教育相談をお受けしています。

お子さんの教育上のことでお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

☎36-5468(直通)

36-1521(内線237)

障害者一日雇用相談室

■日時

開催日 昭和62年9月22日(火)

受付 9時30分～10時

事前説明 10時～10時30分

相談面接 10時30分～14時30分

■場所

浦和西体育館
浦和市大字下大久保1676-1

■問合せ

県内各公共職業安定所・埼玉県労働部職業安定課☎0488(24)2111

お誕生おめでとう

(敬称略)
(内保護者)

(七月中届出)

上新田

新井 美加 長女 (修司)

成沢

坂田 尚弥 二男 (幸夫)

小江川

杉田真由美 長女 (晃)

柴板

駒井 里美 長女 (清)

千代

橋本 雅士 長男 (満)

町田

上杉 裕哉 長男 (勝憲)

上杉

英範 長男 (晴男)

新たに行政区誕生

パークシティー(セブンホーム

団地)が行政区として誕生しました。